

巻 頭 言



富山県知事 石井 隆一

富山発のグローバル展開の推進

富山県は、3,000m級の山々が連なる雄大な立山連峰や、ユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が全会一致で承認された富山湾などの美しい自然環境、世界文化遺産やユネスコ無形文化遺産をはじめとする伝統文化・伝統芸能、豊かで清らかな水と新鮮でおいしい食など、世界に誇るべき多彩な魅力を有しています。

一方で、北陸新幹線の開業や4つの国際定期路線を有する富山きときと空港、日本海側の総合的拠点港である伏木富山港などの交通インフラ・ネットワークの機能を強化し、本県の強みを活かした高品質な製品や工芸品、豊かな自然に育まれた農林水産物などの海外への輸出を積極的に進めてきたところです。

こうしたなか、本県では、今年度新たに策定した総合計画において、「とやまのグローバルブランド推進戦略」を重点戦略のひとつに掲げ、これら多彩な魅力の戦略的発信や県内ものづくり企業の積極的な海外展開、グローバルに活躍する人材の育成・確保や国際交流を積極的に推進することにより、世界における富山県の実在感を高めることとしています。

なかでも、国際交流については、本県は、友好提携を結ぶ4つの自治体（中国・遼寧省、ブラジル・サンパウロ州、アメリカ・オレゴン州、ロシア・沿海地方）を中心として、近年では成長著しい東南アジア諸国やインドなどもさまざまな分野で、交流・協力を進めています。

一方、日露政府間の交流が活発化するなか、本県においても、ロシア沿海地方との友好提携25周年を記念して、昨年7月に友好訪問団を派遣し、さらなる交流・協力のための協定書を締結したほか、「貿易経済に関する日露政府間委員会地域間交流分科会第6回会合」が国内初の地方開催として同月下旬に本県で開催されました。

また、今年は、日中平和友好条約締結40周年の節目を迎えました。このため、8月に中国遼寧省へ友好代表団を派遣し、来年の本県と遼寧省との友好提携35周年に向け、経済や観光、文化の分野などでの「交流と協力の深化に関する覚書」を締結し、中国とのさまざまな分野での交流を一層促進することとしております。

さらに、アセアン地域などからの優秀な留学生の受け入れや定着を促進するとともに、「多文化共生推進プラン」の大幅な見直しを進め、さまざまな主体と連携してグローバル社会における地域づくり・人づくりに積極的に取り組むこととしています。

いよいよ来年には、本県において、5月下旬頃に「日台観光サミット」が、8月下旬～9月下旬には「シアター・オリンピックス」が、10月には日本初開催となる「世界で最も美しい湾クラブ」総会が予定されています。こうした大きなイベントを契機として、富山発のグローバル展開をさらに推進するため、地域間交流や民間による経済・文化・人的交流などが一層活発になるよう、引き続き、さまざまな取り組みを進めてまいります。